

平成26年10月3日資料

教職員業務改善アンケート結果について

1 アンケートの概要

- ・子どもと向き合う時間の確保について、県費負担教職員本務者を対象に調査を実施。
- ・8月21日通知で9月5日締切。回答数は、小学校318名、中学校180名。

2 選択式設問への回答

(1) 質問「あなたは『子どもと向き合う時間の確保』についてどのように感じていますか。」について

- ・否定的回答（「あまり確保できていない」「ほとんど確保できていない」）は、小・中学校ともに約60%である。
- ・規模が大きい学校と小さい学校に分けて集計したところ、規模が大きい学校の方が否定的回答の割合は高い。

(2) 重要だと感じている割合が小・中学校ともに90%を超えている項目について

- ・「市費非常勤職員（特別支援教育支援員等）配置」については、特に小学校が98%とほとんどの教職員が重要性を感じている。
- ・次いで、「週案の簡素化」、「会議の精選、効率化の工夫」、「調査や研修の精選」、「スケジュールの『見える化』、計画的な業務実施」の割合が高い。
- ・「通知表や指導要録の作成を電子化すること（手書きの必要性をなくす）」については規模が大きい学校の方が、「とても重要である」の割合が高い。

3 記述欄への回答

(1) 所属校の実践で他校でも効果的だと思われる業務改善事例の紹介

- ・「ラベリング収納による整理」、「校内地図への収納品の記入」、「長期休業中に職員作業で大掃除」、「職員室の動線の整理（机、棚等の配置）」、「個人ボックスの活用」
- ・「ポンチ絵で目標とスケジュールを『見える化』して提示」
- ・「会議の精選」、「学級優先日の実施（中学校）」、「時間内に暮会等を終わらせる」、「職員朝会の廃止」、「週報、週1回の暮会での周知徹底」
- ・「各分掌での業務改善に係る話し合い」、「自作教具の共有」「行事の精選、簡素化」
など

(2) 要望

- ・「30人、35人学級の実現」、「本務者の増員」、「校務やICTに係る支援員の配置」
- ・市での帳簿類の統一
- ・ICT機器等の整備
など